



## 広陵化学工業株式会社

奈良県北葛城郡広陵町



スワブ製造機



第三工場外観



中西代表取締役

事業者名	広陵化学工業株式会社
代表者	代表取締役 中西 勝
所在地	奈良県北葛城郡広陵町中167番地
設立	1969年
従業員数	100名
URL	<a href="https://koryo-kagaku.co.jp/">https://koryo-kagaku.co.jp/</a>

(2025年12月1日現在)

受賞分野 > 成長戦略・付加価値向上

取組内容 > **高い品質管理能力による「医療」×「食品」の両利きの経営。受託型から「価値創造型メーカー」へ、射出成形技術で挑む変革。**

### 事業概要

同社は創業以来、高度なプラスチック射出成形技術を武器に、医療機器、臨床検査器材、食品関連容器などの開発・製造を手掛け、「医療機器市場」と「食品関連市場」の2大分野を支えている。地域未来牽引企業にも選定されており、特に医療分野においては共同開発や受託生産に加え、高度管理医療機器の開発や、世界に先駆けた細胞培養容器開発への参画など、技術力を活かした事業を展開している。

### 取組内容

円安や資源高による原材料価格の高騰という厳しい環境下において、同社は「医療機器市場」と「食品関連市場」の二軸による「両利きの経営」を確立している。単なる受託製造に留まらず、**自社開発製品を持つ「価値創造型メーカー」への変革を掲げ、特に医療分野での新市場開拓に注力。**大型新工場の建設など積極的な設備投資を行い、さらなる成長戦略を描いている。

#### 医療分野の国産化

輸入品が多くを占めていたスワブ市場に対し、**材料も国内製とした「純国産検体採取用スワブ」を自社開発。**経済産業省の「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業」に採択、有事の際の安定供給体制を構築した。また、開発力を活かし高度管理医療機器の開発も複数取り組んでいる。

#### 食品分野の提案力

独自の成形技術により従来約80度までしか耐えられなかったPS（ポリスチレン）容器を120度耐熱に改良し、耐熱ガラスの代替として有名ブランドの焼成プリン容器を実現した。それだけでなく、**高い品質管理能力を活かして、大手コンビニエンスストアのPBデザート容器を企画から製造まで手掛けるなど、技術提案力で差別化を図っている。**

#### 生産基盤と人材への投資

**成長戦略を支えるため、2024年度には大型の第三工場の建設を開始。品質向上と共に事業拡大に向けた投資を進めている。**あわせて社員教育用の研修をデジタルアーカイブ化して技術継承を促進するとともに、大学院での学びを支援するなど、次世代人材の育成にも注力し、持続的な高付加価値経営への投資も行っている。